

事業計画

<公益1> 県民スポーツ・文化推進事業 1,052,513 千円 (1,014,918 千円)

1 競技力向上 347,268 千円 (321,660 千円)

(1) とっとり競技力強化事業に基づき、本県の競技力の向上を図る。

222,457 千円 (214,081 千円)

① 目指せトップアスリート！わかとりっこ育成事業 2,773 千円 (2,773 千円)

スポーツに触れる機会を提供することで、興味を持つ子どもを一人でも多く発掘し、その後のジュニア育成・強化により、選手育成を図る。

(旧スポーツ好きな子どもを育むスポーツ体験事業)

※わかとりっこ体験会、スポーツフェスティバル

② ジュニア育成のための競技者育成プログラム活用・実践事業

12,149 千円 (12,149 千円)

ジュニア指導者講習会を開催することにより、県内指導者への周知を図る。また、カテゴリー別合同練習会を開催することにより、指導者の引き継ぎ・一貫性を充実させ、指導体制の強化を図る。(36 競技)

③ ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業 4,400 千円 (4,400 千円)

特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成・活性化・大会参加等について積極的な支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。

(22 クラブ 19 競技)

④ 運動部活動活性化事業 28,074 千円 (25,577 千円)

・ 中学生選抜選手育成・強化支援 7,471 千円 (6,873 千円)

競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより、中長期的な選手育成と強化を図る。

※中体連全専門部に対する事業実施 (20 競技)

・ 高等学校運動部指定合宿等支援 7,050 千円 (6,687 千円)

各高等学校における運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を目的にして各競技の運動部を指定し、強化合宿等支援を行う。

※A指定、B指定、C指定に区分をし、配分。

・ 高等学校運動部指定特別指導者確保支援 5,708 千円 (5,708 千円)

指定校へ指導者配置の支援を行うことにより、競技力の向上を図る。

※城北:相撲、敬愛:バドミントン

・ 高等学校運動部指定外部指導者支援 7,845 千円 (6,309 千円)

各高等学校における指定運動部の外部指導者に対する支援を行うことにより、競技力の向上を図る。

⑤ 県外等優秀アスリート受入支援事業 1,500 千円 (900 千円)

県外高校生推薦入試制度により、本県の県立高校へ入学する県外アスリートの受入体制の支援を行う。 @25 千円×12 月×5 人 (ホッケー競技)

⑥ 特別ジュニア選手指定強化事業 36,996 千円 (42,819 千円)

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。(26 競技 28 種目)

- ⑦ (新) 鳥取ジュニアアスリート育成強化事業 8,944 千円 (0 千円)
県直轄の鳥取ジュニアアスリート発掘事業で認定された選手に対する強化育成。特別ジュニア選手指定強化事業から抽出。(10 競技)
- ⑧ 指導者の育成事業 3,537 千円 (3,537 千円)
全国トップレベルの指導者の元に派遣、又は国内外の優秀コーチを招へい訪問等行い、県内の指導者の指導力向上を図る。(24 競技 25 種目)
- ⑨ 大学部指定強化事業 550 千円 (450 千円)
協定により大学運動部を指定し、強化事業を実施する。
※A～Dの4区分に分け、国体強化につながる部の支援を優先する。
- ⑩ 社会人等選手指定強化事業 25,012 千円 (25,012 千円)
各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。(27 競技 28 種目)
- ⑪ 成年団体競技強化チーム事業 1,519 千円 (1,519 千円)
県内において高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に対して補助を行う。
※チアフル鳥取(バドミントン)・米子クラブ(アイスホッケー)へのチーム支援。
- ⑫ 優秀選手確保事業 3,000 千円 (3,098 千円)
成年期の競技力向上のために、県外の優秀選手を雇用する県内企業等に補助をする。 @1,000 千円×3名
- ⑬ 特別指定競技国体強化事業 16,044 千円 (20,421 千円)
競技を指定して、県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することにより、国体等での成績向上を図る。
- ⑭ 医・科学サポート事業 4,192 千円 (4,192 千円)
スポーツ医科学講習会等事業
医事・栄養・ドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会の開催や、栄養知識及び普及に関する講習会の開催のほか、筋力トレーニング等の充実・県内外スポーツ診療関連施設への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図る。
※県内医療施設受診、乳酸測定器消耗品の購入、動作解析等先進地の視察、栄養サポート講習会、指導者クリニック等
- ⑮ 強化練習用消耗品等対策事業 17,301 千円 (16,513 千円)
国民体育大会に参加する上で、消耗品・使用料・作曲料・運搬料等において、その特殊性を考慮し補助を行う。
- ⑯ 安全管理対策事業 1,591 千円 (1,490 千円)
国体候補選手のスポーツ安全保険への加入を補助することにより、強化事業に専念できる体制を整える。
- ⑰ 国体等強化備品整備 35,745 千円 (34,386 千円)
国体等強化備品の整備を行う。
※【陸上】棒高跳屋外シート・スピリットポール、【ボート】シングルスカル男子用・シングルスカル女子用・艇運搬用トレーラー・艇運搬車・ボート

ラック、【体操】トランポリンベッド・測定システム、【レスリング】タイマー一式・レスリングマット、【セーリング】レーザーラジアル級ヨット、【自転車】ワットバイクプロ・ディスクホイールリア・バトンホイールフロント・トラックレーサー完成車・ロードホイール・ロードレーサー・練習用ローラー台、【フェンシング】電気審判器セット、【バドミントン】シャトルノックマシーン、【ライフル射撃】エアライフル銃・ビームライフル銃、【カヌー】スラロームK-1艇・スプリントK-1艇、【アーチェリー】防矢ネット、【ソフトボール】簡易式内野フェンス一式・外野ネットフェンス、【山岳】iPad Pro・タイマー一式、【剣道】胴、【トライアスロン】スイミングエルゴメーター・ロードバイク、【スケート】スピードユニホーム

⑱公認指導者資格取得・更新補助事業 97千円(97千円)

国民体育大会の監督資格要件として必要な日本スポーツ協会公認指導者資格の取得及び更新に係る経費の1/2補助を実施する。

⑲強化推進事業 17,517千円(16,005千円)

- ・強化推進事業費(事務費) 1,080千円(1,080千円)
競技団体との連絡・調整・指導等
- ・競技力向上担当人件費 16,437千円(14,925千円)
競技力向上対策事業を受託執行するための3名の人件費

⑳わかとり国体開催記念スポーツ振興事業 1,516千円(1,516千円)

【募集関係】

ア 情報収集活動事業

国体で入賞が期待される競技の指導者等を各種大会等へ派遣し、全国の競技力等の調査・分析を行うための経費を助成する。

イ 強化用消耗品・備品等整備事業

県の競技力向上対策事業費で措置されていない消耗品及び備品購入のための経費を競技団体に助成する。

【激励関係】

ウ オリンピック出場選手激励事業

本県選手・本県出場選手に対し、激励金を交付する。

エ 国民体育大会入賞奨励金支給事業

国民体育大会において入賞した競技(種別)に対し報奨金を支給する。

【その他】

オ 強化推進費

鳥取県体育協会が競技力向上を推進していくために必要となる経費を助成する。

(2) 国体予選会の開催及び国体等の選手団派遣を行う。 99,516千円(88,849千円)

①国体予選会の開催 2,716千円(2,694千円)

国体選手選考のための県予選会の開催を競技団体へ委託する。

②中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派遣 32,031千円(32,000千円)

主に鳥根県で開催される国民体育大会中国ブロック大会及びフィギュアスケート全国予選会へ選手団を派遣する。

期 日 2019年5月～12月

会 場 鳥根県内の各会場等

競技種目 水泳（水球）他 3 5 競技

- ③第 7 4 回国体及び第 7 5 回冬季大会への選手団派遣 63,482 千円 (52,868 千円)
・茨城県で開催される第 7 4 回国民体育大会（会期前・本大会）に選手団を派遣する。

（本大会及び会期前）

期 日 2019 年 9 月 28 日～10 月 8 日

※会期前実施競技は 2019 年 9 月 7 日～9 月 16 日

競技種目 陸上競技他 3 6 競技

- ・第 7 5 回冬季大会に選手団を派遣する

（スキー競技）

期 日 2020 年 2 月 16 日～2 月 19 日

場 所 富山県南砺市他

（スケート・アイスホッケー競技）

期 日 2020 年 1 月 29 日～2 月 2 日

場 所 青森県八戸市他

- ④国体等派遣選手指導費 1,287 千円 (1,287 千円)

県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行う。

- (3) 競技力向上のための指導者確保事業 12,425 千円 (11,092 千円)

鳥取県の競技力向上のため、優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。

※ホッケー競技・セーリング競技

- (4) JOC 競技別強化拠点（セーリング・クライミング）整備等事業

・コーチングスタッフの確保 11,560 千円 (6,328 千円)

JOC 競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリナ及び倉吉体育文化会館における競技力向上のための機能や利便性の向上を図るために必要な整備を行う。

- (5) アンチ・ドーピング教育・啓発事業（日本スポーツ協会委託事業）

200 千円 (200 千円)

・指導者、選手を対象とした講習会を開催する。

・アンチ・ドーピングに関する啓発を行う。

- (6) 賛助会費事業 1,110 千円 (1,110 千円)

- ①大学生トップアスリート支援事業 600 千円 (300 千円)

大学生で国体に入賞したトップアスリートに競技を継続してもらうため、支援を行う。

- ②ジュニア期の一貫指導・育成支援事業 400 千円 (420 千円)

全国での入賞実績のない高校運動部を指定し、全国レベル到達を目的に支援を行う。

- ③未来アスリート支援事業 0 千円 (240 千円)

各競技団体が開催しているジュニア教室を把握して一覧を作成。ホームページに掲載し、競技人口の増加を目指す。

- ④総合型地域スポーツクラブ育成支援事業 50 千円 (50 千円)

総合型地域スポーツクラブが指導者を招聘して教室開催等を行うことにより、会員確保やクラブ活性化を図る。

⑤賛助会員体育施設利用券の発行 30千円(100千円)
鳥取県体育協会が管理する指定管理及び所有する施設の利用券を交付する。

⑥賛助会運用費 30千円(0千円)
鳥取県体育協会が賛助会費を運用していくために必要となる経費。

2 生涯スポーツ推進 50,575千円(52,352千円)

(1) 広域スポーツセンター事業 26,876千円(26,716千円)

①総合型地域スポーツクラブ運営改善事業 320千円(230千円)
総合型地域スポーツクラブが抱える問題を解消するため、クラブ創設・運営に関する指導者を派遣し、運営改善を図る。

②クラブアドバイザー配置事業 5,492千円(5,007千円)
総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援等を行うためクラブアドバイザーを配置する。

③クラブマネジャー研修事業 120千円(120千円)
総合型地域スポーツクラブのマネジメントに必要な基礎知識を有する人材を養成するため、総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会、スポーツ推進委員を対象とした資格取得のための研修会を行う。

④(新)親子deスポーツ推進事業 762千円(0千円)
子育て世代を中心として、親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識高揚とスポーツ振興を図ることを目的とし、総合型地域スポーツクラブが親子向け運動教室を開催することを支援する。

⑤鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守料等事業 776千円(636千円)
県内スポーツ施設、スポーツイベント、鳥取へのアクセスマップ及び宿泊施設等の情報に加え、各種支援制度をまとめた専用サイトを運用する。

⑥第20回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業 7,911千円(7,701千円)
広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を提供することにより、県民一人一人に参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。

- ・夏季大会 5種目
期 日 2019年8月24日～25日
会 場 西部地区中心に全県で開催
- ・秋季大会 33種目
期 日 2019年10月26日～27日
会 場 西部地区中心に全県で開催
- ・冬季大会 5種目
期 日 2020年2月9日
会 場 西部地区中心に全県で開催

⑦大韓民国江原道とのスポーツ交流事業 5,500千円(3,683千円)
本県体育協会と江原道体育会との協定(2001年11月6日協定)に基づき、両県道のスポーツ交流を行い、競技力の向上と友好親善を図る。
2019年度は江原道が鳥取県を訪問。

- ・スポーツ交流大会 3競技(バレーボール(少年男女)、柔道(少年男女)、バドミントン(成年男女))
期 日 2019年12月(予定)
参加者 3競技の監督、選手、体協役員等

【鳥取県－江原道スポーツ交流事業 過去交流大会】

回数	期 日	場 所	参加人数	
			鳥取県	江原道
第1回大会	平成13年11月5日～9日	春川市	24名	29名
第2回大会	平成14年6月24日～27日	米子市	43名	33名
第3回大会	平成15年11月10日～13日	東草市	34名	38名
第4回大会	平成16年7月26日～29日	大山町	40名	31名
第5回大会	平成17年7月26日～29日	江陵市	33名	37名
第6回大会	平成18年7月25日～28日	米子市	46名	37名
第7回大会	平成19年12月4日～7日	原州市	36名	43名
第8回大会	平成20年11月18日～21日	鳥取市	49名	36名
第9回大会	平成21年12月4日～8日	東海市	41名	49名
第10回大会	平成22年12月3日～7日	鳥取市	41名	35名
第11回大会	平成23年12月2日～6日	春川市	38名	38名
第12回大会	平成24年11月30日～12月4日	米子市	56名	37名
第13回大会	平成25年11月29日～12月3日	春川市	42名	47名
第14回大会	平成26年11月28日～12月2日	米子市	57名	41名
第15回大会	平成27年12月11日～12月15日	原州市	40名	39名
第16回大会	震 災 の 為 の 中 止			
第17回大会	平成29年12月8日～12月12日	鳥取市	43名	40名
第18回大会	平成30年12月7日～12月11日	春川市	45名	45名

⑧広域スポーツセンター人件費 5,995千円(6,566千円)
広域スポーツセンターの事業を受託執行するための1名分の人件費。

(2) 体協表彰事業 2,000千円(2,000千円)
スポーツ振興を図るため、表彰規程に基づき本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を挙げた選手について、選考委員会の審議により表彰者を決定し、表彰する。

期 日 2020年2月22日(土)

場 所 白兔会館

表彰内訳

優良団体賞	数団体
体育功労章	若干名
優秀指導者賞	若干名
特別賞	国際大会出場者等
スポーツ賞	全国大会等上位入賞
スポーツ敢闘賞	全国大会等下位入賞
スポーツ奨励賞	全国規模大会入賞者

(3) 公認コーチ養成事業 1,592千円(1,573千円)

①公認コーチ養成講習会の開催(日本スポーツ協会委託事業)
1,106千円(1,106千円)

・コーチ1養成講習会 2競技(ソフトボール、スポーツクライミング)

②公認コーチ育成事業(日本スポーツ協会委託事業) 486千円(467千円)

・スポーツ指導者研修会の開催 年2回

・指導者育成関係事業事務費

(4) スポーツ少年団の育成(日本スポーツ協会助成事業等) 5,344 千円(6,486 千円)

① 県競技別交流大会開催事業 612 千円(610 千円)

各地区を代表するスポーツ少年団による県交流大会の開催

・軟式野球大会

期 日 2019年7月27日(土)、28日(日)

会 場 米子市 淀江球場

・ミニバスケットボール大会

期 日 2019年8月上旬

会 場 米子産業体育館

・剣道大会

期 日 2019年10月27日(日)

会 場 名和トレーニングセンター

・バレーボール大会

期 日 2019年12月15日(日)

会 場 境港市民体育館

② 中国ブロックスポーツ少年大会・リーダー研究大会開催事業

790 千円(636 千円)

各県のスポーツ少年団による交流研修大会の開催

期 日 2019年8月16日(金)～18日(日)

会 場 船上山少年自然の家、倉吉体育文化会館

③ 中国大会派遣事業 215 千円(198 千円)

各県で開催される中国ブロック競技別交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。

④ 全国大会派遣事業 406 千円(506 千円)

全国で開催されるスポーツ少年団交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。

⑤ 中央講習会派遣事業 12 千円(40 千円)

将来の指導者の養成や認定員の資質向上を目的とした研修会等へ派遣

・シニアリーダースクール

・認定育成員研修会

⑥ スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会の開催

366 千円(490 千円)

単位団運営において最低2名以上必要な、スポーツ少年団認定員資格及び日本スポーツ協会公認スポーツリーダー資格を取得できる講習会の開催

期 日 2019年11月16日(土)～17日(日)

会 場 鳥取県立倉吉体育文化会館

⑦ ジュニア・リーダースクール開催事業 124 千円(124 千円)

日本スポーツ少年団リーダー制度におけるジュニア・リーダー資格を取得できる講習会の開催

期 日 2020年1月25日(土)～26日(日)

会 場 鳥取県立大山青年の家

⑧ 地区別交流大会開催費 451 千円(601 千円)

本県東・中・西部地区の市町村で開催される交流大会費用を助成。

⑨ 地区別指導者研修費 294 千円(391 千円)

本県東・中・西部地区の市町村で開催される指導者研修費用を助成。

⑩スポーツ少年団本部運営費 2,074千円(2,056千円)

(5) スポーツ安全保険業務 4,634千円(4,571千円)

公益財団法人スポーツ安全協会と業務及び経費について協定を交わし、スポーツ安全保険業務を行う。

(6) 施設基金実施事業 10,129千円(11,006千円)

①因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業 585千円(585千円)

兵庫県但馬地区と鳥取県因幡地区の小学生・中学生による陸上競技の交流を目的とした対抗選手権大会の開催経費補助。

②ガイナレ鳥取支援事業 101千円(301千円)

ガイナレ鳥取に対し、県体協としても可能な支援を行い、本県スポーツの充実を図るとともに地域活性化に寄与する。

③布勢スプリント開催事業 601千円(601千円)

布勢総合運動公園において開催される「布勢リレーカーニバル兼スプリント挑戦記録会IN TOTTORI」に各種目のトップアスリートを招待することにより、子どもたちに夢や感動を提供することに寄与する。

・招待選手：調整中

④鳥取県体育協会創立100年記念事業 4,058千円(7,861千円)

・鳥取県体育協会史編集事業 4,058千円(2,000千円)

鳥取県体育協会の歴史を後世に残していくため、鳥取県体育協会史の発刊を行う。

発刊：2019年度を予定

⑤備品整備事業 283千円(283千円)

県民スポーツ・文化推進事業を円滑に行えるよう、備品の整備を行う。

・公用車(軽自動車)の維持・修繕等

⑥2020東京オリパラ・世界選手合宿誘致事業 4,501千円(201千円)

東京オリ・パラキャンプ誘致に係る開催市町村への負担

3 体育施設管理・運営 654,670千円(640,906千円)

鳥取県及び米子市から指定管理者に指名された体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。

	布勢総合運動公園	鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	皆生市民プール	米子産業体育館	武道館	合計
利用予定 人員	1,122,000人 (1,122,000人)	体77,500人 (82,500人) プ67,000人 (67,000人)	87,000人 (87,000人)	140,000人 (150,000人)	117,000人 (110,000人)	1,610,500人 (1,635,500人)
利用収入 等金額	55,540千円 (57,042千円)	29,878千円 (32,370千円)	22,455千円 (22,135千円)	28,900千円 (30,811千円)	9,750千円 (9,474千円)	146,523千円 (151,832千円)
※収益2 の収益	6,276千円 (6,002千円)	1,624千円 (1,534千円)	712千円 (662千円)	1,330千円 (820千円)	1,809千円 (1,716千円)	11,751千円 (10,734千円)
支 出	347,176千円 (336,850千円)	97,126千円 (98,027千円)	68,939千円 (67,880千円)	63,010千円 (62,407千円)	78,419千円 (75,742千円)	654,670千円 (640,906千円)
県委託料	285,360千円 (273,806千円)	65,624千円 (64,123千円)	—	32,780千円 (30,776千円)	66,860千円 (64,552千円)	450,624千円 (433,257千円)
米子市委 託料	—	—	45,772千円 (45,083千円)	—	—	45,772千円 (45,083千円)
スポー ツ・文化 教室	【陸上】 陸上教室他9教室 【体育館】 卓球初級教室 他24教室	【体育館】 バドミントン他13教室 【プール】 幼児水泳教室他16教室	【プール】 幼児水泳教室他22教室 【トレーニングホール】 バドミントン初級教室 他9教室	【年間教室】 〔スポーツ教室〕 体操・体育(幼児コース) 他13教室 【短期教室】 バドミントン(一般)教室 他2教室	空手教室 弓道教室 柔道教室 剣道教室 なぎなた教室 銃剣道教室 カンフー体操教室 ゆったり運動教室 他2教室	
イベント	・グラウンドゴルフ大会 ・卓球大会 ・サッカー大会 ・ナイター陸上競技大会 他13イベント	・室内グラウンドゴルフ 大会 ・小学生卓球大会 ・新春初泳ぎ ・泳力検定 他5イベント	・トップアスリート招聘 ・泳力測定会 ・水辺の安全教育 ・水中大運動会 ・高齢者体力測定会 他8イベント	・館長杯バドミントン大 会 ・館長杯バウンドテニス 大会	・武道体験会 ・小学生武道大会 ・高校生武道大会 ・武道養成講習会 ・鏡開き式 他2イベント	

()内は前年度数字

<収益 1>施設関連事業 79,155 千円 (75,816 千円)

1 体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。

(1) 倉吉体育文化会館の管理運営 70,317 千円 (68,745 千円)

事業計画	
	倉吉体育文化会館
利用予定人員	172,000 人 (186,000 人)
利用収入等金額	20,137 千円 (21,574 千円)
支出	70,317 千円 (68,745 千円)
県委託料	50,180 千円 (47,171 千円)
スポーツ教室	クライミング他 14 教室
文化教室	英会話教室他 7 教室
イベント	【スポーツイベント】 クライミング体験会他 6 イベント 【文化イベント】 夏休み文化教室他 4 イベント

() 内は前年度数字

(2) 倉吉自転車競技場の管理運営 8,838 千円 (7,071 千円)

- 倉吉自転車競技場管理運営 7,181 千円 (7,071 千円)
職員 2 名を配置し管理運営を行う。

- 倉庫新設工事設計 1,657 千円 (0 千円)

新たに敷地内に倉庫を新設するための設計を行う。

<収益 2> 自動販売機設置事業 7,405 千円 (7,216 千円)

本会が管理する公の施設に、利用者の利便性の向上を図るため自動販売機を設置し、自動販売機手数料による収益事業を実施する。

	布勢総合運動公園	鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	皆生市民プール	米子産業体育館	武道館	合計
収入	10,150 千円 (9,700 千円)	2,606 千円 (2,500 千円)	1,300 千円 (1,250 千円)	2,000 千円 (1,500 千円)	3,100 千円 (3,000 千円)	19,156 千円 (17,950 千円)
支出	3,874 千円 (3,698 千円)	982 千円 (966 千円)	588 千円 (588 千円)	670 千円 (680 千円)	1,291 千円 (1,284 千円)	7,405 千円 (7,216 千円)
収益	6,276 千円 (6,002 千円)	1,624 千円 (1,534 千円)	712 千円 (662 千円)	1,330 千円 (820 千円)	1,809 千円 (1,716 千円)	11,751 千円 (10,734 千円)

() 内は前年度数字